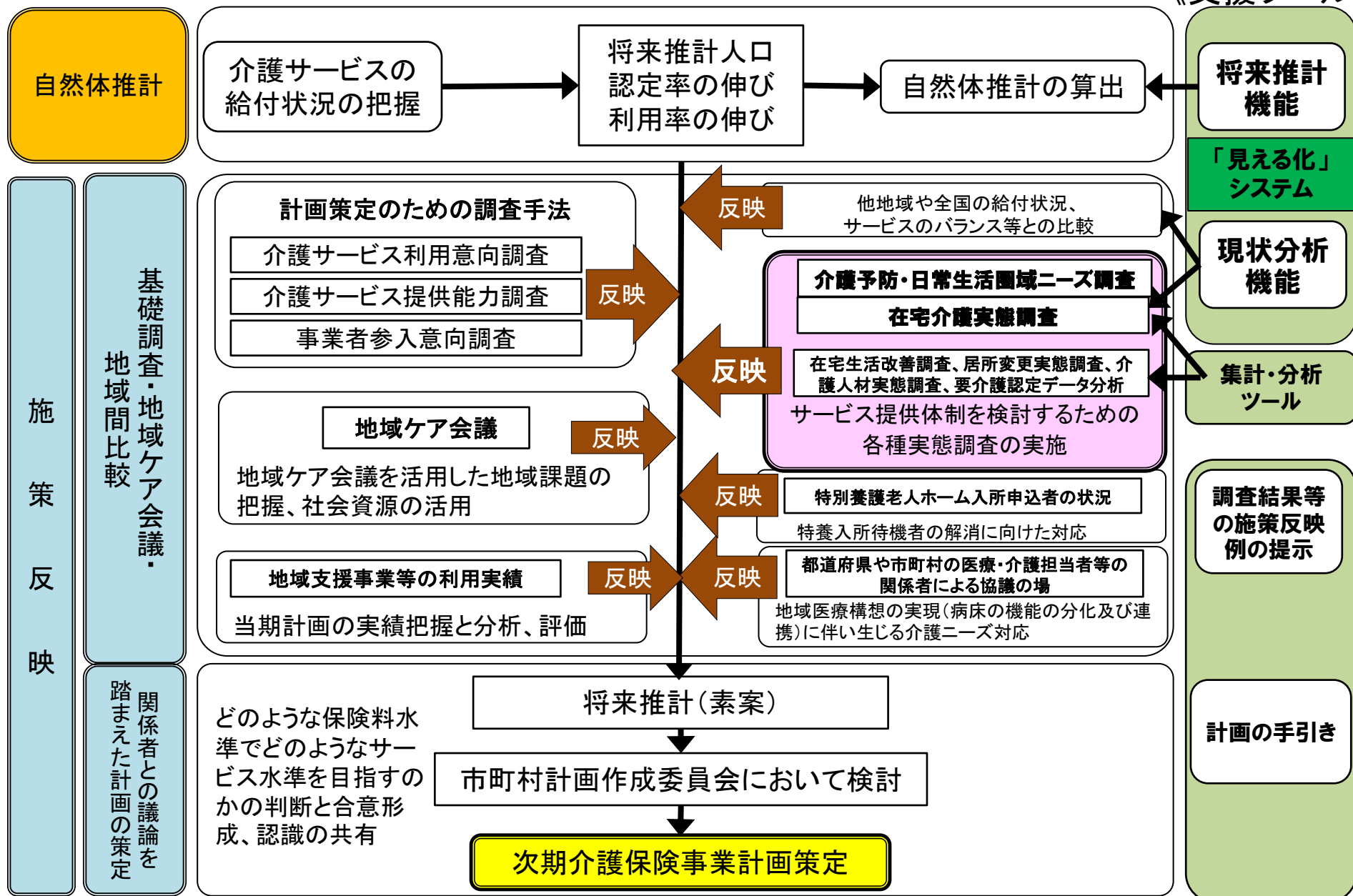


# 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールイメージ

令和7年度第3回運協  
資料2-2

## 《作成プロセス》

## 《支援ツール》



## 第10期介護保険事業(支援)計画に向けた調査の実施

介護保険法(第117条第5項)において市町村は、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされている。

### ＜実施いただきたい調査＞

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査については、地域の要支援者・総合事業対象者・一般高齢者の地域課題を把握するために重要であり、実施していただきたい。(基本指針参照)
- 在宅介護実態調査については、介護離職を防止する観点から、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、主に在宅で要介護認定を受けている者を対象とした調査である。計画の作成にあたり関係者と議論する際の材料として有用であり実施していただきたい。(基本指針参照)

### ＜実施を検討いただきたい調査＞

- その他のサービス提供体制を検討するための各種実態把握調査(在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査)については、調査の実施・分析に必要な体制の確保に留意しつつ、実施を検討いただきたい。  
在宅生活の継続という観点からのビジョンを設定・検討されている市町村は、本調査が、住み慣れた地域での生活を支えるうえで有効な定期巡回・小多機・看多機等の地域密着型サービスのニーズの把握につながる観点を踏まえて検討いただきたい。

### ＜留意点＞

- 保険者機能強化推進交付金の令和8年度指標では、留意点で「当該地域の特徴の把握にあたり、必要に応じて、①介護予防・日常生活支援ニーズ調査、②在宅介護実態調査、③その他各種実態調査(在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査等)を実施することが重要である。」と予定している。

### 介護保険法(平成9年法律第123号) (抄)

第117条第5項 市町村は、第2項第一号の規定により当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする。

### 9期の基本指針(令和6年1月19日厚生労働省告示第18号) (抄)

#### 第二 - 一 - 2 - (三) 調査の実施

市町村は、被保険者のサービスの利用に関する意向等を把握するとともに、自らが定める区域ごとに被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情等、要介護者等の実態に関する調査(以下「各種調査等」という。)の実施に努めるものとする。なお、その際は、特に、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用することが重要である。

また、要介護状態等にある家族を介護するため離職すること(以下「介護離職」という。)を防止する観点から、働きながら介護に取り組む家族等や、今後の仕事と介護の両立に不安や悩みを持つ就業者の実情等の把握に努めるなど調査方法等の工夫を図ることが重要である。

～中略～

さらに、これらの調査により定量的に把握された心身の状況が低下した被保険者の状況や働きながら介護に取り組む家族の状況等を参考として、生活支援サービスや介護予防事業の充実等の取組、介護離職の防止を含む家族等への支援の観点を踏まえた介護サービスの整備や、介護離職防止の観点から労働担当部局と連携した職場環境の改善に関する普及啓発等の取組を市町村介護保険事業計画に定めるとともに、それらの取組を勘案して要介護者等の人数やサービス量の見込みを定めることが望ましい。

## Q 2 現在、自宅等にお住まいで、生活の維持が難しくなっている人はどの程度いるの？

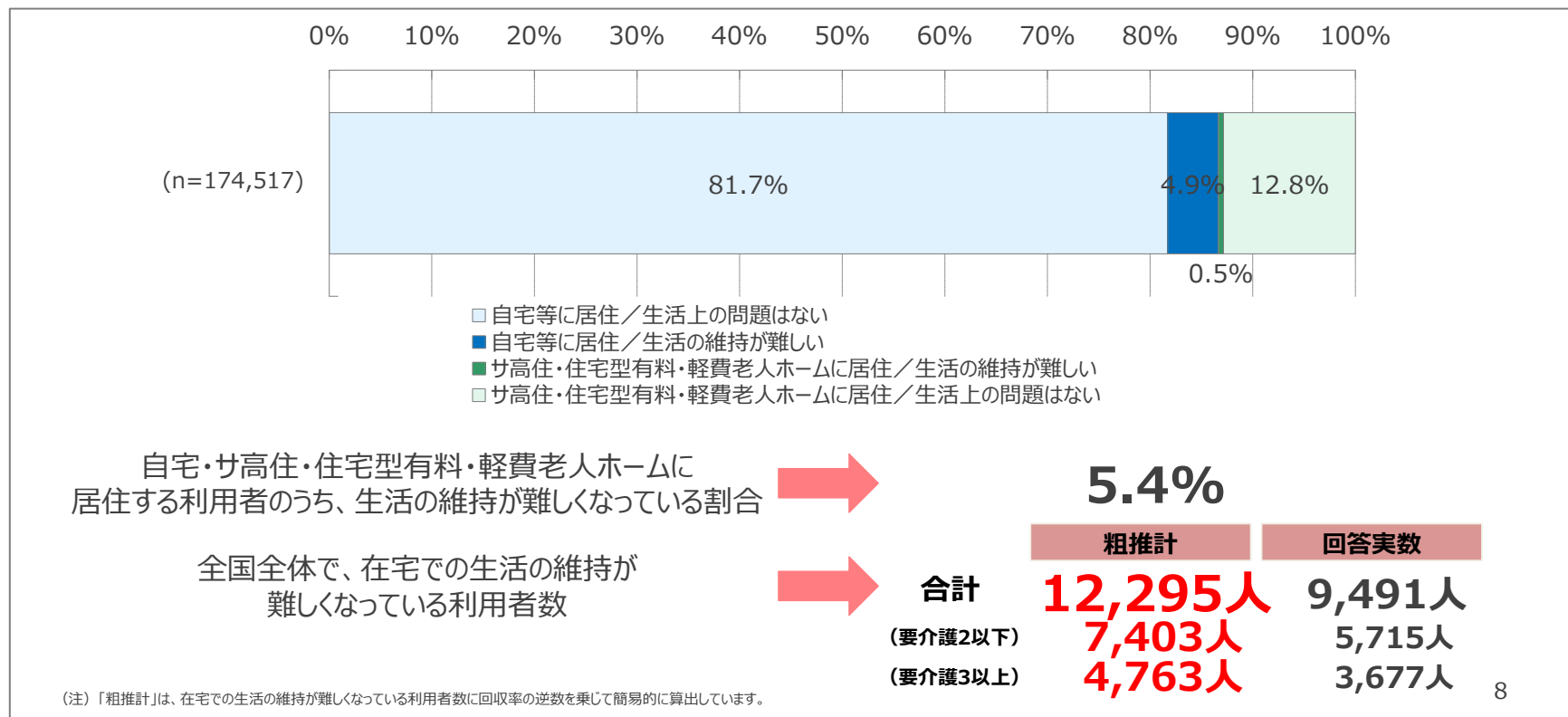
### 【集計・分析する設問】

□ 在宅生活改善調査 利用者票への回答人数

### 【わかること】

□ 現在、自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている人」の人数（粗推計）

図 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



## Q 5 自宅等で、現在の生活の維持が難しくなっている人たちに、必要なサービスは何か？

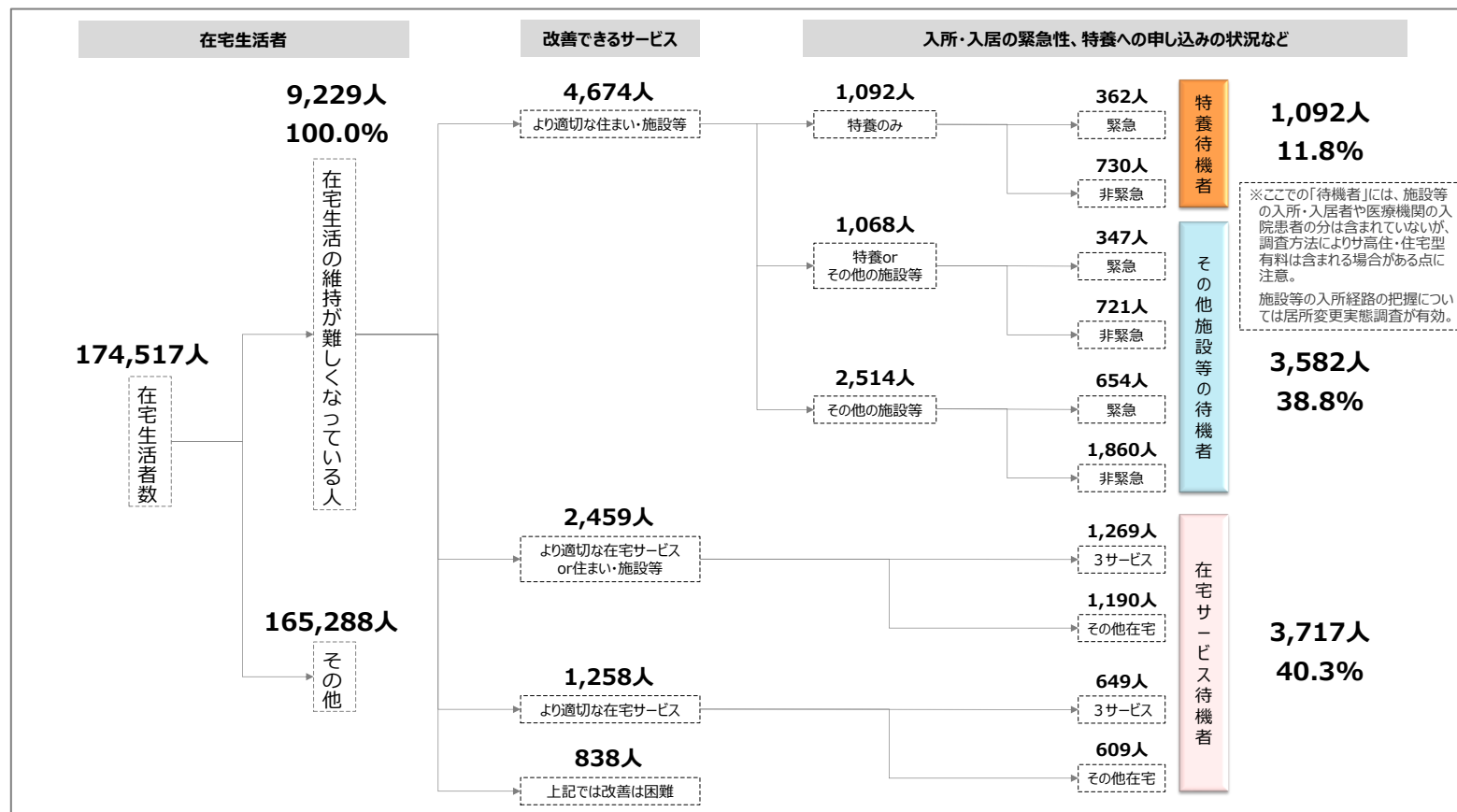
### 【集計・分析する設問】

□ 在宅生活改善調査 利用者票 問3-1～問3-3

### 【わかること】

□ 自宅等で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている人たちの、「生活改善に必要なサービス(潜在的な需要)」(粗推計)

図 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



## Q 7 在宅生活の継続が可能と考えている人は、どのようなサービス利用をしているの？

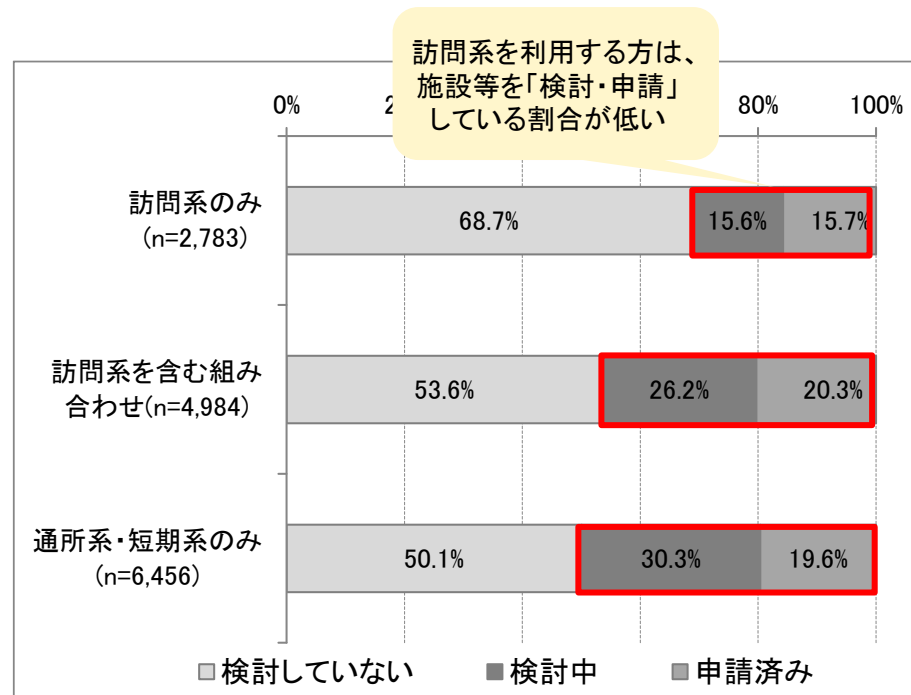
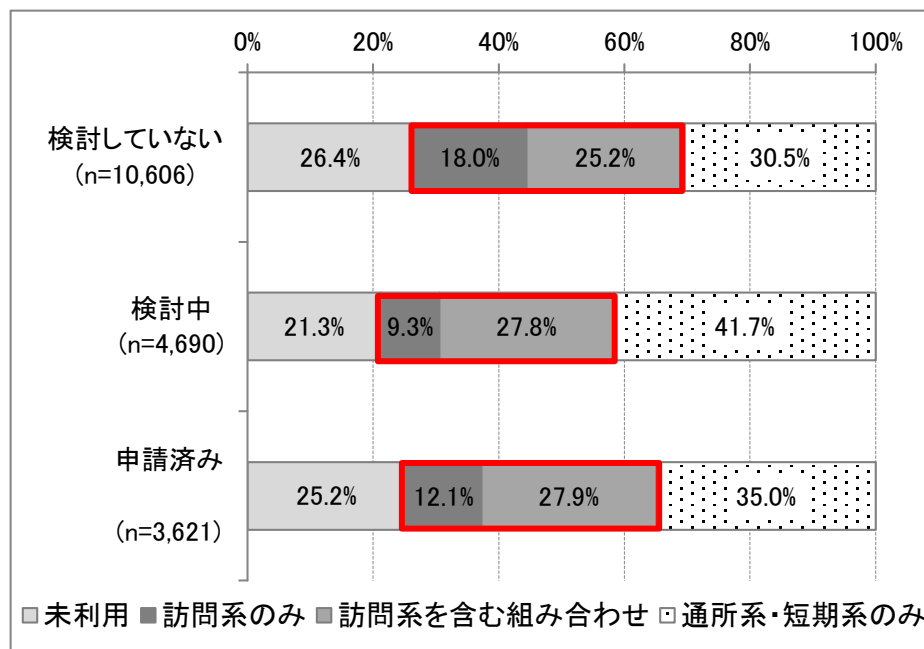
### 【集計・分析する設問】

□ 在宅介護実態調査 A票-問10、要介護認定データ(サービス利用の状況)

### 【わかること】

□ サービス利用の組み合わせと、施設等の検討状況の関係

図表 サービスの利用の組み合わせと施設等検討の状況 (要介護3以上)



### Ⅲ 「調査や分析ツールの活用」により、把握できる地域の実態とは？

#### Q10 過去1年間に、施設等から退所・退居した人について、居所変更をした人と死亡した人の割合は、それぞれどの程度？また、居所変更した人の行先はどこ？

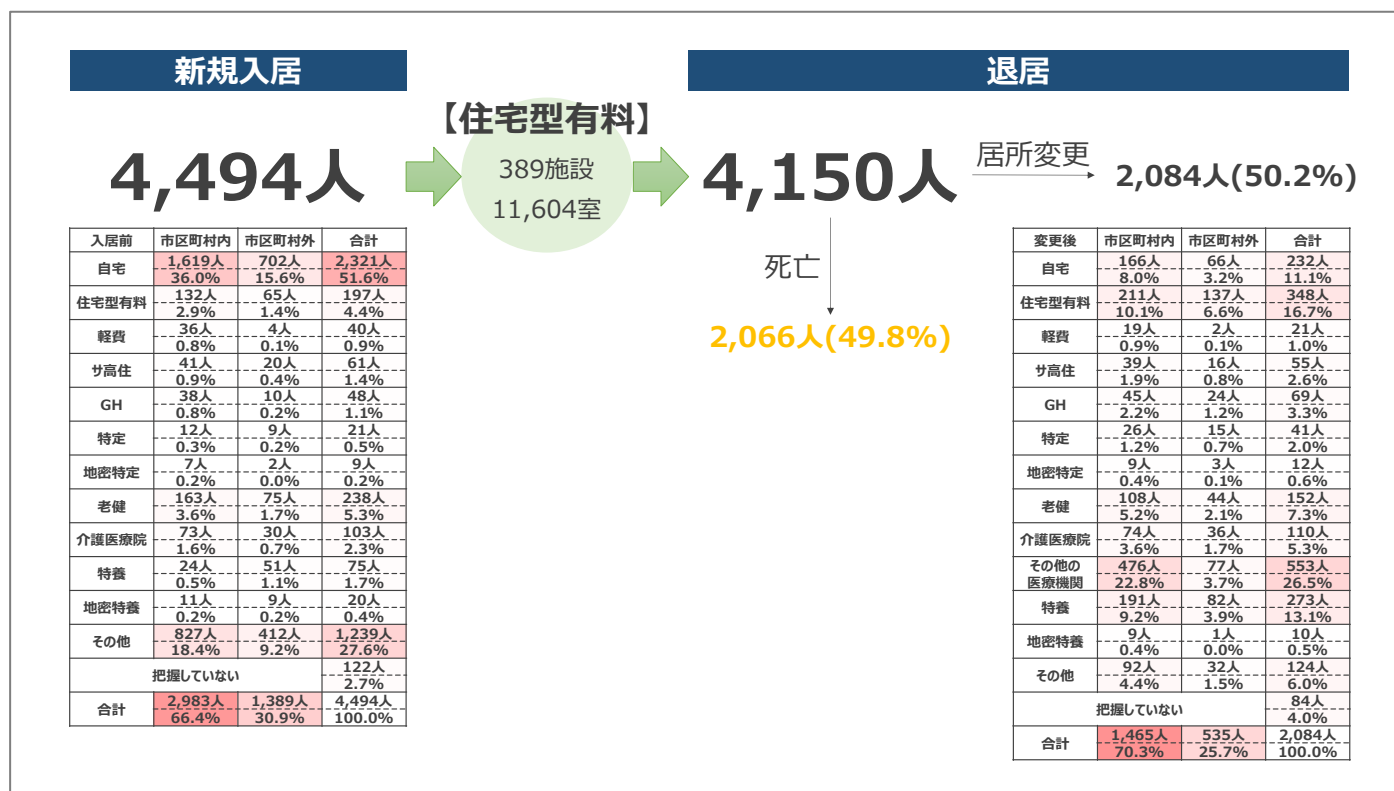
##### 【集計・分析する設問】

□ 居所変更実態調査 問2-2)、問6、問9

##### 【わかること】

□ 居所別の入所・入居前にいた居場所の構成、居所別の退所・退居した人の居所変更と死亡の割合、居所別の居所変更した人の行先の構成

図 過去1年間の施設等の入居・入所及び退居・退所の流れ



### Ⅲ 「調査や分析ツールの活用」により、把握できる地域の実態とは？

手引き  
P.56

## Q20 サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？

### 【集計・分析する設問】

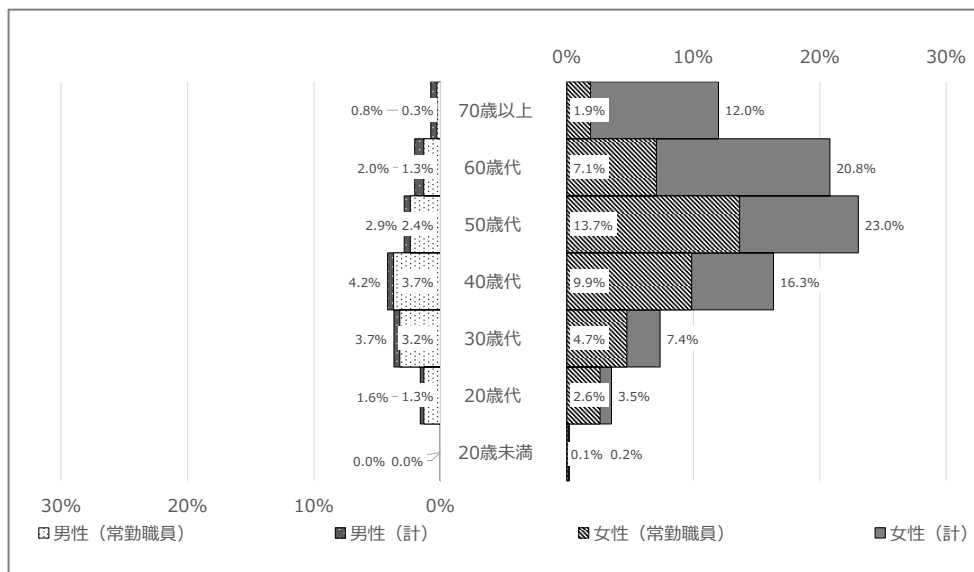
□ 介護人材実態調査 職員票 問1、問2、問3-1)～3)

### 【わかること】

□ 介護職員の性別・雇用形態別(正規・非正規)の年齢構成

### 訪問系

図 性別・年齢別の雇用形態の構成比(訪問系)



### 施設・居住系

図 性別・年齢別の雇用形態の構成比(施設・居住系)

